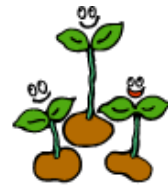


《まめ知識》



廃タイヤのその後

2007年9月

高く積み上げられた廃タイヤ。みなさんも目にしたことがあると思いますが、あのタイヤたちの“その後”を知っていますか？
日本での廃タイヤ年間発生量は、約100万トン(約1億本)にもなります。驚いてしまう数字ですが、リサイクル率も約88%とけっこう高いのです。あの廃タイヤたちが、その後どうなるのか…。

実は、けっこう近くにいます。例えば、道路の舗装材。廃タイヤを細かいチップ状にし、舗装材にします。弾力があるので、騒音低減や凍結抑制などの効果があります。他にも、港の防舷材や公園の遊具。みなさんも、タイヤの遊具で遊んだことがあるでしょう。また、タイヤは焼却する際の発熱量が大きく、その熱量を利用した“発電”という目に見えない形で役立っています。

そして今、ちょこっと話題になっているのが、廃タイヤを利用したエコサンダル！サンダルの底の部分にタイヤを使用していて、履き心地も良いそうです。積み上げられた廃タイヤは、ちょっと暗いイメージがありますが、その後は、意外と身近なところで活躍してくれているんですね！



Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)